

No.

2023 年度 地理歴史科 年間学習計画表

山形県立長井高等学校

科目	地理B	単位数	3	週時間数	3	年次・コース・組	3年探究理系
使用教科書 副教材等	新詳地理B(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院) 最新地理図表GEO(第一学習社)						

① 学習の到達目標

- ①現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。
- ②地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

② 評価の観点、方法

- 関心・意欲・態度 世界の地形・気候・文化・産業などの様々な地理的事象に関心を持ち、様々な角度からそれを理解しようとする。
- 思考・判断・表現 事象の背景となる要因や、共通性・関連性を見だし、それを自分自身の言葉で表現できる。
- 資料活用・技能 さまざまな図表を読み取り、理解を深めるとともに活用できる能力を身に付けている。
- 知識・理解 自然環境や社会環境など人間を取り巻く環境について、基本的な知識を身に付けている。

③ 担当者から

- 2年生で学習した内容を総復習したうえで、さらに系統的な内容を学んでいきます。その後、地誌を学ぶことになります。各分野を関連付けて学んでいくことがとても大切です。
- 日頃から世界のさまざまな事象に目を向け視野を広げよう。地理的な知識はもちろんのこと、経済や歴史的背景にも興味関心を持ちましょう。
- 身の回りの生活の中にこそ、地理の学習につながるヒントが隠されています。身近なことに目を向け、多面的なものの見方や考え方を身に付けましょう。
- 地図帳やデータブックには、おもしろい情報がたくさん掲載されています。時間があれば、積極的に目を通してみましょう。

※ 前期反省

--

※ 年間反省

--

※ 次年度に向けて

--

④ 学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む）

月	単元名	教科書項目等	・主な学習活動(指導内容) ◎評価のポイント ○留意点	授業予定 時数	授業 実施 時数
前 期	◆ 系統地理	○現代世界の国家	・既に学んだ分野について復習し、新しい分野と関連づけて理解を深める。 (地域ごとの特徴を踏まえて)	(前期中 間Ⅰ)	16
		○世界を結ぶ交通・通信	◎知識の定着度、思考力や判断力・表現力を磨こうとする姿勢。		
		○村落と都市	◎授業での積極性や態度(グループ学習・ペア学習・調べ学習の様子、レポートを含む)。	(前期中 間Ⅱ)	13
		○様々な地図と地理的技 能	・資源の分布やそれに関連する諸問題、工業の特色や立地条件とその変 化等について理解する。		
		○世界の地形	・世界人口の特徴や人口構成、移動の歴史、人口問題について理解す る。	(前期期 末)	19
		○世界の気候	・世界で起こっている民族問題・領土問題について理解する。		
		○環境問題			
		○資源と産業			
		○人口			
		○生活文化、民族・宗教			
後 期	◆ 地誌 現代世界 の諸地域	○東アジア	◎東アジアについて、地形と気候、中国の民族と人口、食生活と農業、工 業化と経済発展、朝鮮半島の成り立ち、韓国の産業などを項目ごとに整 理して考察できるか。	(後期中 間)	22
		○東南アジア	◎東南アジアの自然、歴史と文化・民族、農業と変化、ASEANと工業、 ASEAN諸国の変化などについて考察できるか。		
		○南アジア	◎南アジアの地形と気候、宗教、インドの農業と工業について考察するこ とができるか。	(年度末)	
		○西アジア	◎西アジアと中央アジアについて、イスラムの文化、都市、産業の面にお いて似た性格を持つ二つの地域を比較して考察できるか。		
		○アフリカ	◎アフリカの文化に着目して気候と植生、歴史的背景、一次産品への依 存、生活の変化などを考察することができるか。		
		○ヨーロッパ	◎ヨーロッパの気候と大地、成り立ち、域内の結びつき、農業、変化する 工業、これからのヨーロッパなどについて考察できるか。		
		○CIS諸国			
		○アングロアメリカ	◎アングロアメリカについて、自然環境、アメリカ合衆国の移民国家として の発展、人口と都市、農業、産業などを考察することができるか。		
		○ラテンアメリカ	◎ラテンアメリカについて、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変 化、工業化と生活の変化という特色ある事柄を他の事柄と関連づけて考 察できるか。		
		○オセアニア	◎オセアニアについて、一つの大陸と太平洋の島々、移民の歴史と多文 化社会、強まるアジアとの結びつき、アジア諸国に輸出される農畜産物と いう特色あることがらについて考察できるか。		
	◆ 演習 個別指導		○演習を通して、大学入学共通テストに向けた実力の養成を行う。 ○国公立大学二次試験及び私立大入試に向けた実力の養成については 個別に対応する。	15	